

高校相撲金沢大会

雨中の声援

金沢東勢、健闘及ばず



激しい雨の中で大きな声援を送る生徒ら = 県卯辰山相撲場

第八十八回高校相撲金沢大会は五月三十日、金沢市の県卯辰山相撲場で行われ、生徒、教職員ら約九百人が、途中の激しい雨を打ち払うように、大きな声援を送りました。金沢東高校チームは予選を三勝九点の全勝で決勝トーナメントに進んだものの、健闘及ばず1回戦で金沢高校に敗れました。



華やかな応援を繰り広げる金沢東高校のチアリーダーたち



応援団とチアガール、ブラスバンドがリードして、エール、三三七拍子、一三七拍子、「押せ」コール、応援歌「われら若鷲」などを次々と繰り出して、奮闘する選手を応援しました。昼前から激しい雨に見舞われて、他校の応援に次第に元気がなくなる中、金沢東高校の応援席では、全員がびしょ濡れになりながらも大きな声援、手拍子を送り続け、会場全体に本校の元気の良さをアピールしました。個人決勝トーナメント戦には、予選三戦全勝の服部祥平、山本祐斗、岡田健太郎の三選手が進出しましたが、いずれも1、2回戦で姿を消しました。

本学の特徴を印象付け

石川、富山、福井で学校説明会

5会場に計79校参加



金沢学院大学、金沢学院短期大学の平成十七年度学生募集説明会は五月二十二日から六月二日まで、富山、高岡、金沢、福井、七尾の五会場で行われました。計七十九校の進路指導担当者らに、本学の特徴を説明し、教育内容に理解を求めました。このうち、五月二十八日に2号館で行われた説明会には、県内三十七校の進路

指導担当教員らが出席しました。宮本匡章学園長、石田寛人学長が「本学園の大学、短大の教育内容にふさわしい生徒をぜひ進学させてほしい」などとあいさつしました。ビデオで施設や大学の学部、短大の学科を紹介し、各学部長が教育内容の特徴について、短大学部長が来年度の学科再編について説明しました。高い就職率を収めた就職指導の方針と成果もアピールしました。

山岸県教育長が本学で教職講話

石川県教育委員会の山岸勇教育長は五月二十四日、金沢学院大学大を訪れ、全学教務委員会の教育実習指導講話で教職を目指す学生を前に、新しい時代に必要な教師像などに理解を求めました。



講演する山岸教育長

山岸教育長は、知識偏重の画一的教育の反省から取り組んでいる教育改革の六つの柱として、分ける授業、他人の気持ちに理解、楽しくて安心できる環境、信頼される学校、教えるプロの育成、大学の改革、を挙げた上で、生きる力を備えた総合的な力を子供たちに持たせることが今、求められていること強調しました。求められる教師像としては、子供にやさしく思いやりがある、明るくてユーモアにあふれる、物事への聡明さ、智慧、勇氣、誇りを持つことなどを説明しま

した。また、指導力不足の教師に対する一年間の研修制度などにも触れ、教師になつたら、もう一生安泰という時代は終わった」と厳しさを訴えました。

金沢学院大4位

北陸大学野球春のリーグ戦一部は六月三日、全日程を終了し、金沢学院大学は4勝6敗で4位でした。勝敗数が同じ高岡法科大学、金沢星稜大学と4、6位決定の巴戦に臨んだ結果、金沢学院大学は2勝を挙げて4位が決定しました。

発行・広報室